

### いわき室内楽協会

## 好間一小で訪問演奏

### 音楽のプレゼント届ける



演奏する三上さん

いわき室内楽協会の訪問演奏が15日、好間一小で行われた。日本のトップレベルの演奏家3人が訪れ、児童たちは名手が紡ぎ出す本物の響きを楽しんだ。

同協会は昨年発足、日本屈指のチェロ奏者丸山泰雄さんがミュージックディレクターを務めている。丸山さんはいわき芸術文化交流館「アリオス」を拠点にする弦楽四重奏団「ワイルダス・クワルテット」のリーダーで、いわきのかかわりも深い。仙台市出身で、東日本大震災では親類をくす

という悲しみの中、被災地へと足を運び続けた。ある避難所では丸山さんの演奏に嗚咽(なみげん)を繰り返す人も。家族を失い、ふるさとが変わってしまった姿、あまりの惨状に泣くことができなかったという被災者が、音楽で本来の表情を取り戻していく様に、音楽の持つ力を再確認したという。

いわきにもたびたび訪れ、被災者や復旧活動に訪れた人々にも音楽を届けた丸山さん。第二のふるさとと思えるほど、愛着を持つようになったいわきで、一流の音楽家

でもあるバイオリン奏者の三上亮さんと丸山さんの3人。360人の全校児童が3人を取り囲み、演奏に聞き入った。

演奏会は、丸山さんと中川さんによる、タンゴの名曲「リベルタンゴ」で幕を開けた。続いて、サン・サンス「白鳥」を演奏、美しく安らぎの旋律で、水辺の優雅な白鳥の姿を児童たちに想起させた。

訪問演奏の翌日はいわきアリオスで行われた定期演奏会での演奏曲も一部披露した。三上さんと丸山さんが、ラヴェルの「ヴァイオリンとチェロ」ドビュッシー「チェロのためのソナタ」から、ピアノのためのソナタ、4楽章を演奏。難解と言われがちクラシック音楽の素晴らしさを多くの人に伝えたいとの思いで、活動を丸山さんらしく、クラシックを聞き慣れない子どもたちでも分かるやすいようにと、曲に登場する奏法や曲の構成などを分かりやすく伝えられた。

丸山さんと中川さんが楽しんだ。

### 来年の春休みに開催

## スプリングサイエンスキャンプ2015

### 参加者募集中

独立行政法人科学技術振興機構などが来年3月の春休み期間中に開催する「スプリングサイエンスキャンプ2015」では、1月20日まで参加申し込みを受け付けている。

サイエンスキャンプは、先進的な研究テーマに取り組み大学や公的研究機関、民間企業などを会場に、高校や中等教育学校(4~6学年)、高専(1~3学年)に在籍する生徒を対象にした、先進的科学技術体験合宿プログラム。先進的な研究施設や実験装置のある研究現場での実体験

と性野の加トいが年制開才やを高術

で現る月を機申召ミホ導科宿施れ野環理